51. 勇気 Courage

これは、あなたがひとたび神を見い出す道に踏み込んだら、後戻りはないことを思い出させるためのものです。これには途方もない勇気が必要です。

あるときイエスは、朝早く湖に来た。ひとりの漁師が網を打ったばかりで、太陽はまさに地平線上を昇ろうとしていた。イエスが漁師の肩に手を置くと、漁師は彼を見た。一瞬の間、彼らの間ではことばが交わされなかった

イエスは言った。「いつまでお前は魚を捕まえて、自分の生涯を無駄にするつもりなのか?
私といっしょに来るがいい。お前に神を捕まえる道を見せてあげよう」

その人には途方もない勇気があったにちがいない。彼は網を湖のなかに捨てて、ひとつの問いすらたずねることもなく、イエスについて行った。

彼らが町のすぐ外にいると、ある人が走って来た。彼は漁師に言った。「どこに行くんだ? 気でも違ったのか? 家に帰って来い! 病気だったお前の親父さんが死んだんだ。だから俺たちは親父さんの最後の儀式と礼拝の

漁師は初めてイエスに話しかけた。彼は言った。「死んだ父の、息子としての義務を果たすために、三日間だけ家に帰るのを許していただけますか? 」

イエスは言った。「心配することはない。町には死んだ人びとが非常にたくさんいる――彼らが面倒をみてくれるだろう。
死人が死人を埋めるのだ。お前は私といっしょに来るがいい。そして、もしお前が私といっしょに来たら、そのときには後戻りはない」

そこでその人はついて行った。

TAO : THE GOLDEN GATE, Vol.1, pp.236-237

Revision #4
Created 5 October 2024 23:14:10 by ゆう
Updated 26 October 2024 02:30:18 by ゆう